学校番号	３２４

平成３１年度　芸術科〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	年次	2
使用教科書	MOUSA②（ 教育芸術社出版 ）						
副教材等	音楽の鑑賞資料と基礎学習　（教育芸術社出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「音楽史や楽譜を読むこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技・筆記テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！ ～出会いのうた～	【歌唱】 「ハナミヅキ」 「糸」 「アメージング グレイス」	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、外国語の歌詞の理解も深め、表現意欲をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーに親しもう	【器楽】 リコーダー 「春」 「ハナミヅキ」 ほか	○	○			a: 楽器に親しみ、リコーダーの音階・運指練習に意欲的に取り組む。 ｂ：音名やリズム・アーティキレーションに注意し、楽曲のメロディーを演奏することができる。	観察 ワークシート 演奏聴取
	楽譜を読もう	【理論】 プリント	○				a: 音名や音符・休符の基礎について知識を深め、読譜力を養う	観察 ワークシート 筆記テスト
	鑑賞のファーストステップ ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 ロマン派～ ・ムソルグスキー 「展覧会の絵」 ・スメタナ 「モルダウ」	○		○	○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 筆記テスト

2学期	日本の民謡の特徴や日本の心を感じ取ろう	【歌唱】 「涙そうそう」 他 合唱曲	○	○	○	○	a:曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦	【器楽】 ギターの基本 「チャップステイック」	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞の幅を広げる	ロドリーゴ 「アランフェス協奏曲」 ほか	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 筆記テスト

3学期	ギターの技術をレベルアップ	【器楽】 タブ譜 コード練習	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法を確実にするとともにタブ譜の読み方を学習し、練習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏聴取
	合唱発表	【歌唱】 合唱 「群青」	○	○	○		a: 合唱に関心をもち、パート練習や指揮・伴奏など、発表に向けて主体的に取り組もうとしている。 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:歌詞の内容を学習し、それを伝えるための表現力を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏発表
	鑑賞	【鑑賞】 近代～ 和楽器 ・武満　徹 「ノベンバーステップス」	○			○	a:管弦楽と和楽器が扱われる作品の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受すると共に、我が国の伝統楽器に対する理解を深め、よさや美しさを味わうことができる。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。